



平成 30 年 4 月 18 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ナ ッ ク
 代 表 取 締 役 社 長 吉 村 寛
 (コード番号 9788 東証第 1 部)
 問 合 せ 先 ビジネスサポート本部長 川上 裕也
 (TEL. 03-3346-2111)

平成 30 年 3 月期通期業績予想の修正、および特別損失の計上等に関するお知らせ

平成 29 年 11 月 10 日に公表いたしました平成 30 年 3 月期通期業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 30 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	94,100	2,000	2,050	550	32.74
今回修正予想 (B)	90,400	1,500	1,550	△1,050	△62.43
増 減 額 (B - A)	△3,700	△500	△500	△1,550	
増 減 率 (%)	△3.9	△25.0	△24.4	—	
(参考) 前期連結実績 (平成 29 年 3 月期)	85,901	756	793	415	24.65

2. 修正の理由と特別損失の計上等の内容

今回修正した連結業績予想数値に関しては、平成 30 年 2 月 9 日付け「配当予想の修正に関するお知らせ」に記載した営業利益および親会社株主に帰属する当期純損失と大きな乖離はございません。

連結売上高は、クリクラ事業やレンタル事業の業績が堅調に推移した一方、住宅事業の中核子会社レオハウスの売上高が前回発表予想には届かず、3,700 百万円の下方修正となります。また、建築資材の高騰や職人不足を背景にした建設コストの増加、悪天候などによる引渡し予定物件の遅延発生などが利益にも大きな影響を与えており、同社を含む住宅事業セグメントの営業損失は 800 百万円と前回予想から 600 百万円の下振れとなる予定です。その結果、連結営業利益は前回発表から 500 百万円減少の 1,500 百万円となる予定です (経常利益も同様に前回比 500 百万円減少の 1,550 百万円の予定)。

親会社株主に帰属する当期純利益は、経常利益の 500 百万円の下振れに加え、下記の特別損失 1,100 百万円を計上し、加えてレオハウスに係る繰延税金資産 380 百万円の取り崩しが必要となりその結果、1,050 百万円の損失 (前回比 1,550 百万円の減少) となる予定です。

- ・レオハウス不採算店舗の減損損失 590 百万円 (第一四半期計上分 115 百万円含む)
- ・レオハウス店舗閉鎖(20 店舗)等に係る諸費用 260 百万円
- ・関係会社出資金評価損 80 百万円 (第三四半期計上分 65 百万円含む)
- ・その他特別損失 (レオハウス以外) 170 百万円

以 上